

# 東海聖会報

## 召して下さった方の真実によって

川津 良知

このたび、6月の東海聖化大会でご用をさせていただくことになりました。よろしく願います。

私は1963年から愛知県の豊川市で育ち、1987年に基督兄弟団豊橋教会の牧師として任命され、また2009年から基督兄弟団名古屋教会の牧師として兼牧しているものです。東海地区では50年以上も関わっているものですが、しかし、今回の東海聖会でのお話を伺ったときには、すぐにお断りさせていただきました。あまりにもふさわしいものではないからです。

私は、基督兄弟団で生まれ、育ち、そして献身させていただいて、所属しているものです。きよめ派であり、きよめを求め、きよめの恵みの中に生きるものですが、しかし、それは、私が選んだわけではありません。生まれたときからその中で育てられてきたものです。教会学校も、そして高校1年で洗礼を受けて以来、礼拝もほとんど休んだこともなく、献金も忠実に、当たり前のようにしてきたものです。そして、献身生涯30年以上が過ぎています。しかし、私自身は、きよめ派に属するものとしてふさわしいものとはいえないものです。私の聖書学院卒業の祝いの席で、男性は二人だけの卒業生でしたが、祝いのことばとして、「今までの修養生では、二人の男性の場合、一人は途中でいなくなってしまう、男性一人だけの卒業が多かった。今度もきっと一人はいなくなるだろうと思っていた。二人して卒業するとは思わなかった」と、私が卒業できるとは思わなかったという厳しいお祝いのことばをいただいたものです。学院時代でも、学院の中で問題が起これば、私はまったく関係がなかったとしても、その中に私の名前がよく出ていたそうです。それほどの問題児であり、牧師としてふさわしいとは思われない

ものでした。

また、多くの点で失敗するものであり、ご迷惑をかけてきたものです。教会の中でも役に立つような賜物もなく、目立つ存在でしたが、悪いものでしか目立たないものです。だからこそ、東海聖会で、雑用をするだけならまだしも、講師としての話があったときには、当然すぐお断りしました。ところが、お話を持ってきて下さった先生方が、今回の聖会では、そのような私のことを知りながらも、それでもお話を勧めて下さり、主の憐れみを求めて、お引き受けすることになりました。

しかし、自他共に認めているような私ですが、それでも、私は、きよめ派に所属する群れの牧師として今も奉仕をさせていただいています。何度も書きますが、それはふさわしいものと全く思っていませんが、ただ一つ、私を選び、私を召して下さった方は、真実であることを信じるからです。イエス・キリストの十字架によって、共に十字架につけられた犯罪者であっても、「今日、わたしとともにパラダイスにいます」とさえ言われました。罪のあるものは誰も入ることができない神の国に入ることができたのです。十字架にかかり、よみがえられたイエス・キリストによって、私の罪もすべてが赦され、そして罪のないものとされ、罪に定められることはないと言って下さる主によって、今、私はここに立っています。私が自分のことを何の役にも立てない、どうしようもないものだと思っても、「神がきよめたものを、きよくない」といってはならない」と言われることを信じ、また召して下さった方は、真実ですから、必ず何らかの必要があることを期待し、ただ主の御手にお委ねして、仕えてきました。

信仰だけで、主の前を歩んでいるものですが、東海地区の皆様にも励ましとなっていただければとの思いです。お祈りをよろしくお願い致します。(基督兄弟団名古屋教会・豊橋教会 牧師)

## 第18回遠州聖会 「キリストのように一聖潔の成長」

第18回遠州聖会は遠州地域にあります5教団（インマヌエル、ホーリネス、救世軍、日本イエス、ウェスレアン）、8教会の協力により2月16日（日）午後2時30分より、インマヌエル浜松キリスト教会を会場に恵みのなかに開催できましたことを心より感謝申し上げます。（出席者163名）

今年のテーマは「キリストのように一聖潔の成長」でありました。聖会の前日は東海・関東地方は記録的な大雪に見舞われ、書籍販売の予定をしていたゴスペル・ボックスが浜松には来られないという状況の中でしたが、神様は元救世軍司令官であられる吉田眞先生を予定通りお遣わしになられました。聖会でヨハネによる福音書15章1節から17節を開かれて「豊かに実を結ぶ」と題して御言葉を取り次いでくださいました。

特別賛美には市内にある、ぶどうの木インターナショナル・クリスチャンスクールの生徒さんが中心に、幼児さんから高校生までの約25名の皆さんが2曲の賛美をささげられ、はじめにささげられた「口先だけではなく、心から」と

いう歌詞が特に印象的でありました。

吉田先生は、私たちは実を結ぶように召されているが実を結ぶ事よりも、繋がっていることに努めてくださいと語られた。繋がっていることで、様々な困難や苦しさがあるが枝と幹がひとつになり共に働くことによって実を結びますと、家族で英国へ移られた時のエピソードを紹介されました。3人のご息子が居られ、現地の学校で学ばれ英語が話せなくて苛められトイレで御飯を食べられたとの事でした。大変なご苦勞をされ、本当に辛い体験であったと思います。しかし、このことを通して神様は、鍛錬をされ経験の幅を広げられ帰国後、救世軍のフィリピンの家族が来日され、ご息子と同じ経験をされ、トイレでご飯を食べていると聞くと。「そうか、僕もそうだったよ」と答えたそうです。私たちには苦難や困難を実を結ぶ道具としてくださり、そのように神様が手入れをなさることを鮮やかに語られました。最後に恵みの座が開かれると大勢の方が前に進まれ祈られる聖会になり御名を崇めました。感謝。

（遠州キリスト教会牧師 三輪保志）

## 本の紹介

## 「聖化の説教」を薦める

『聖書六十六巻の聖潔』と言う著作がありますが聖書はどこを開いても、ホーリネスのメッセージに満ちています。

いみじくもRSフォスター監督が述べたように、「聖潔は、預言に生き、律法にとどろき、物語に語り、約束にささやき、祈禱に哀求し、詩に輝き、歌に響き、模型に語り、象徴に燃え、言葉に踊られアルファよりオメガまで、初めより終わりまで、黙示全体の精神に燃え輝く」のです。

そしてこれを立証しているのが本書です。本書の特色は、執筆者が広範囲に及んでいることとあります。聖書的きよめの立場に立つ団体がほとんど網羅されていると言えるでしょう。

その題目が多角的であることです。聖書の普段扱われていない箇所からもメッセージが汲み取られています。

また適用が実際的であることです。牧会に従事している器の具体的な解き明かしがなされ、読者の霊的な養いとなっています。本書を心からお薦めいたします。（竿代 忠一）



聖書全巻から「聖化の説教」をお届けする  
旧約聖書編Ⅰ～創世記からエステル記まで～

聖書に登場する人々が繰り広げる英雄的行動や惨めな失敗、  
彼らの信仰に現れたホーリネスの輝きを、  
21人の牧師が日ごころの主日礼拝で語った  
普段着の説教としてお届けします。

日本聖化協力会出版委員会  
定価 本体1,500円＋税

## インマヌエル 四日市キリスト教会



1971年、静岡教会の松村導男牧師が、ある信徒の願いで四日市で巡回集会を開始、翌1972年正式に教会が開設され、松村導男主任牧師、久保泰昭・以津子副牧師が派遣されました。翌年より久保師が主任となり、1976年には代わって内山富夫・和恵師夫妻が着任。筆者はこの年から時々四日市教会の礼拝に出席させて頂いていました。

1984年には近鉄駅前繁華街の民家から隣の新正駅前の準工業地帯へ移転、会堂新築を果たしました。その後、西田价宏・靖子牧師、佐藤道直牧師を経て2011年から山田謙嗣牧師が着任しています。

現在の課題は高齢化とCSの生徒がほとんどいないこと。市内の赤堀地区でCS公園伝道を開始し、毎回3～4人が集まっています。

ある信徒が自分で作ったチラシを配布し、それを通して導かれ救われた人が出ています。求道中の人もいます。

隣（写真左側）にブラジル人の教会ができました。直接的な協力はありませんが、礼拝時間が違うので駐車場を共用しています。（石田）

## 学びの時「東海聖化交友会の働きを パーパス・ドリブンの眼鏡でみた現状評価と今後への提案」

今回の東海聖化交友会（THA）総会の学び会では、副会長を務めてくださっている秋山直光師（中京聖泉キリスト教会牧師）が、THA設立当初の目的と照らし合わせて、THAの現状の検討すべき点を、今後への提案という形で投げかけてくださいました。

先生からは、聖会出席者や役員の人数、献金額が減少しているという現状が伝えられつつも、現状打開、組織発展と動く前に、この団体の目的を再確認すべきではないかという問いかけがなされました。そして、聖化の宣証を目的とするのに、「集めて聞かせる」スタイルの聖会だけがその手段ではないことが説かれ、提案として、聖会出席者同士で語り合える時間を持つのはどうだろうか、との奨めがなされました。

これについて、レスポンスに立ってくださった石田師からは、聖会出席者の減少ではなく、各教会の教勢そのものが減少していることに目

を留めつつTHAの現状を見ることと、THAは、きよめの究明・普及のための、教職者研鑽の場を必要としているのではないかと、との意見が出されました。

こうした応答以外にも出席者より、THAの現状に対する強い思いとともに、建設的な意見が出された他、秋山師の提案された、聖会の場で語り合うことについての肯定的、積極的な意見が出され、次回の東海聖会への期待が大きく高まった学びの時となりました。

「きよめとは、相手のある事柄であるのに、せっかく恵まれ説教を聞いても、私ひとりで自分と勝負してしまうことを毎年繰り返してしまう。」ここを聴衆、いや参加者ひとつとなつての「私たち」のきよめとして受け止めて行こう、と語られる、秋山師の落ち着いた語り口の中に垣間見える熱い思いに心動かされた学びの時でありました。（書記 古田大展）

# 21th 東海聖会



講師 川津 良知 師

賛美ゲスト アンサンブルシオン (29日のみ)

今年は、地元 名古屋の講師をお迎えしての聖会です。  
川津良知先生は基督兄弟団・名古屋教会と豊橋教会を兼任される主任牧師。50代で同教団の理事も務めておられます。牧師2世ですが、若い頃、信仰に反発。その分、豊かでおおらかな包容力で、これまでにない聖会メッセージを語ってくださると期待しています。

とき

6 | 28 土 2:30PM  
29 日 2:30PM

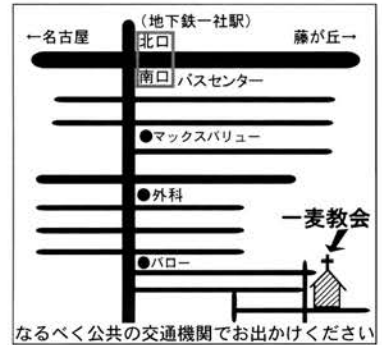
ところ

活けるキリスト  
一麦教会

名古屋市名東区亀の井2-102  
☎ 052-701-4221

東海聖化交友会

〒453-0053 名古屋市中村区中村町7-46福音センター  
問合せ / ☎ 0562-97-6468



## 東海聖化交友会役員会の構成

今年は役員改選の年ではありませんが、  
若干の異動がありました。

会長 松浦 剛

(日本イエス・キリスト教団 名古屋教会)

副会長 秋山直光

(日本聖泉キリスト教会連合 中京聖泉教会)

書記 古田大展 (活けるキリスト 一麦教会)

会計 関 昌宏

(チャーチ・オブ・ゴッド 春日井栄光教会)

広報 石田聖実 (日本基督教団 鈴鹿教会)

研修 篠沢 忠俊 (ナザレン 名古屋教会)

書籍・録音 高山清和 (インマヌエル 豊田教会)

新田栄一 (ホーリネス 名古屋城北教会)

遠州支部

会長 竿代忠一

(インマヌエル 磐田キリスト教会)

事務局 浜田耕三

(インマヌエル 島田キリスト教会)

会計監査 檀原久由 (ホーリネス 安城教会)

顧問

毛戸健二

(基督兄弟団 名古屋教会)

竿代信和

(インマヌエル 和歌山教会)

